

## 取扱いの趣旨

口腔内装置調整が診療報酬上別に評価されていることや傷病名として口腔内装置に係る「ハセツ」病名があることから、当該病名のない口腔内装置修理の算定は原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】 《令和2年9月28日》

### 53 口腔内装置修理

#### ○ 取扱い

原則として、口腔内装置に係る「ハセツ」病名がない場合には、「I 0 1 7 - 2 口腔内装置調整・修理 2 口腔内装置修理」の算定を認めない。

#### ○ 取扱いを定めた理由

口腔内装置修理の算定にあたって、口腔内装置調整が診療報酬上別に評価されていることや傷病名として口腔内装置に係る「ハセツ」病名があること等から、当該病名を記載することが適切である。

#### ○ 留意事項

傷病名と診療状況の関係等が不明な場合には、必要に応じて医療機関に対して照会を行い個々の症例により判断する必要がある。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

口腔内装置修理を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（口腔内装置に係るハセツ病名がなく口腔内装置修理を算定）に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、口腔内装置修理が  
査定・返戻となった割合

#### 【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

## 審査結果の概要

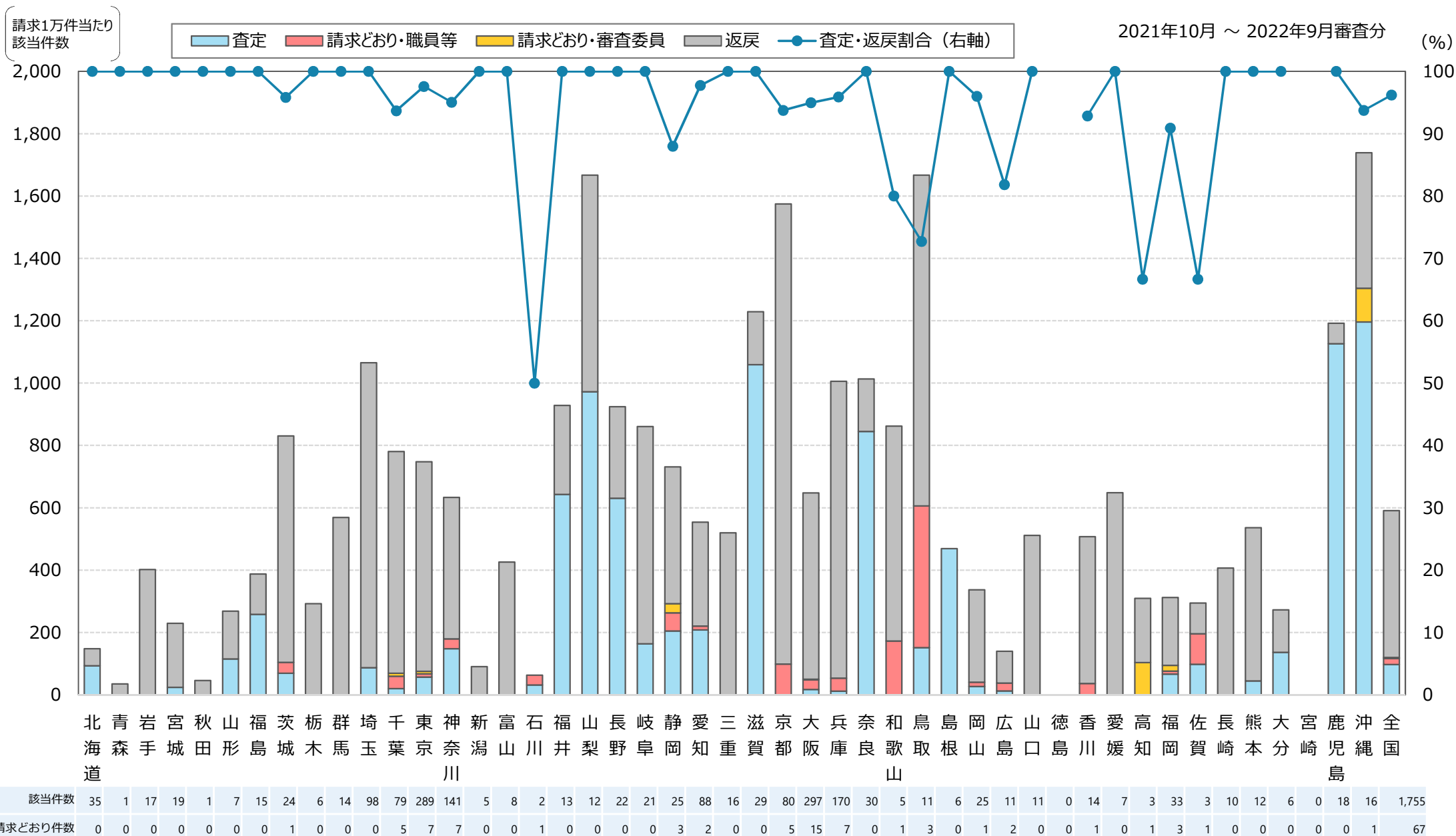
- 全国の査定・返戻割合 96.18%
- 検証を必要とする都道府県 4

検証観点	検証を要する都道府県	備考
査定・返戻割合が低い都道府県	鳥取、広島、静岡、大阪	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員等	鳥取、静岡、大阪、広島	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	静岡、大阪	//

該当件数（全国）	口腔内装置に係るハセツ病名がなく口腔内装置修理を算定	1,755件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	1,688件
検証を必要とする審査	請求どおり	67件

# 事例53 口腔内装置に係る「ハセツ」病名のない口腔内装置修理の取扱い

【認めない事例】



【該当件数】 口腔内装置に係るハセツ病名がなく口腔内装置修理を算定しているレセプト件数